

金山町復興計画・概要版

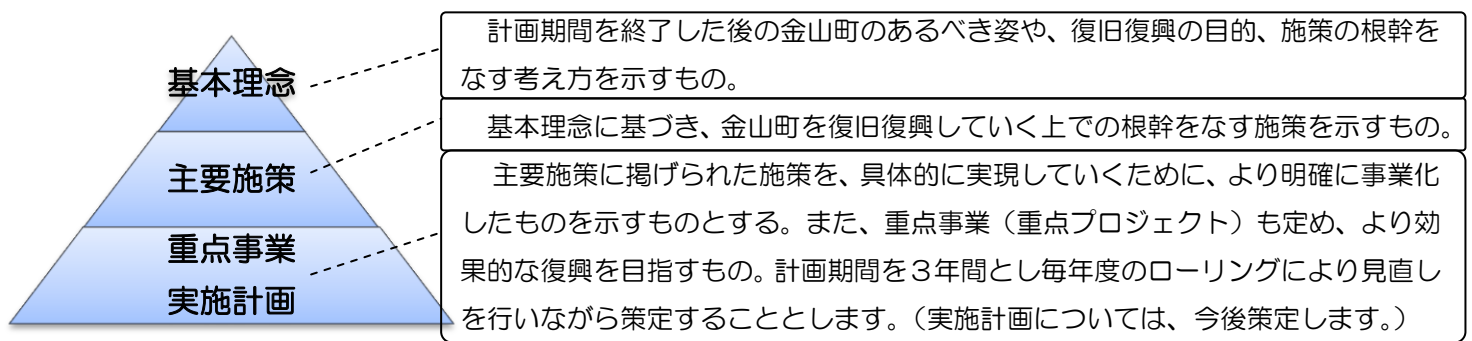
金山町では、平成23年7月新潟福島豪雨災害により著しい被害を受け、復興にむけた町づくりを進めています。この度、復興に向けての指標とするための復興計画が完成しましたので、計画の内容を概要版でお知らせいたします。

1、はじめに

○復興計画の目的…金山町史上最大規模の水害から立ち上がり、復興に向けた一歩を町民とともに踏み出し、安全で住みやすく、よりよい金山町をつくりだすための指標とすること。

○復興計画の期間…平成24～28年度（5年間）（重点復興推進期間 平成24～26年度）

○復興計画の構成…この計画は、『基本理念』『主要施策』『実施計画』の3段階で構成します。



2、基本理念

○復興計画の基本理念

3つの基本理念

- ① 安全・安心な生活の再建による美しい町づくり
- ② 地域資源の活用と地域産業の再生による元気な町づくり
- ③ 地域文化や風土の再興による支えあう町づくり

○復興計画のテーマ

本計画のテーマ

『安全で誇り高きふるさと金山町の創造』

3、復興のための施策・事業

○主要施策

- 主要施策1：災害に強い安全で安心な生活の確保
 主要施策2：地域資源を生かした産業の振興による活力の向上
 主要施策3：地域のきずな、地域の支えあいによる再生

主要施策1：災害に強い安全で安心な生活の確保

- ・被災者・高齢者の安定した生活の確保
- ・ライフライン・生活基盤の早期復旧
- ・安全・安心を確保する対策
- ・防災体制の強化を図り災害に強い町づくり
- ・防災機能の再構築による災害時の対策

主要施策2：地域資源を生かした産業の振興による活力の向上

- ・1次産業の復興。町民生活と地域経済を支える農業の再生と6次化の推進
- ・町民生活支援と町内商工業の復興策
- ・道の駅かねやま（仮）を核とした町内各分野の振興
- ・農業・観光など町内各分野の発展を目指した施設整備
- ・内水面漁業の新たな可能性の検討
- ・再生可能エネルギーの活用・供給拠点としての役割を担える町づくり

主要施策3：地域のきずな、地域の支えあいによる再生

- ・只見川の再生による川の風景を誇れる町づくり
- ・防災意識の向上、災害時の地域地力の強化
- ・災害の風化を防ぎ、後世に残す取り組み
- ・被災者や住民の不安や悩みを解消するきめ細やかな取り組み
- ・ラジオの難聴対策と町独自のテレビ放送の検討
- ・保小中高の連携・地域との連携による教育環境の充実
- ・温泉施設の利活用
- ・「支えあいの町 かねやま」の実現のため様々な事業推進

○実施計画のうち重点事業（重点プロジェクト）

1、『安心・安全なまちづくりプロジェクト』（主要施策1より）

事業名	事業の内容
被災住宅取壊改修補助事業	住宅再建者に対して解体、産廃処分、借入利子の一部に補助
被災者用住宅整備事業	被災された方の住宅問題への対策の検討
町営住宅整備事業	町営住宅の建築
高齢者共同住宅整備事業	高齢者共同住宅の必要性の検討
廃屋対策事業	管理されない空家に対して対処方法を検討
川口統合簡水水源確保事業	川口統合簡水の安定した水供給を行うため新たな水源を確保
河川災害復旧事業	只見川筋の河川災害普及工事を福島県が行う。（町内21箇所）
洪水対策事業	水害要因調査、町管理普通河川の対策、町道復旧、大岐調整池の調査
JR只見線の復旧	JR只見線川口ー只見間の早期復旧要望

只見川河川整備計画の策定	住民意向を反映させた計画策定についての要望
河川観測体制の強化	水位観測所の設置、観測データの開示、水位標識の設置、ライブカメラ設置
情報の共有化	雨量、水位、放水量等河川情報の共有化と安全な避難誘導体制の構築
ダム操作規定の見直し	被害を低減させるダム運用方法の確立をその管理規定見直し要望
浚渫事業の継続的实施	元河床までの浚渫の実施要望
電力会社の社会貢献	現場の職員常駐、新エネルギー研究拠点の建設、農業分野への進出、地域活性化への協力などを電気事業者へ要望
消防防災施設整備	防災倉庫の整備、資材確保、緊急車両の設置、防災備品整備、情報通信体制強化
自主防災組織の育成強化	地域防災力強化目的に消防団OB隊・消防団役場班の設置検討、婦人消防加入促進、日赤と連携して後方支援体制の充実
地域防災計画の見直し	計画の総合的見直し、防災対応のマニュアル化、災害時応援協定の検討
緊急避難所・避難通路の確保	孤立・浸水集落の避難通路・避難所対策、災害時の診療所活用を検討
町有オープンスペースの確保	瓦礫や流木、避難所としての多目的広場の確保

2、『産業の振興プロジェクト』（主要施策2より）

事業名	事業の内容
農地災害復旧事業	農地・農業用施設（道路・水路等）の災害復旧
農業用機械修繕再取得事業	農業機械の修繕・再取得に対する支援
道の駅を核とした地域農業活性化事業	地元農産物・特産品の地産地消の確立、販路拡大、6次化、産業の創出、雇用の拡大
安全でおいしい農産物生産推進事業	放射能抑制対策、土づくり推進、農産物栽培講習会開催
新たな農業振興事業	㈱奥会津金山大自然の発展充実、少量多品目の計画栽培・販売への変換、地産地消・自給自足・大量生産を同時に行う体制、2・3次産業化（6次化）
商工業災害支援事業	商工業機械・設備の修繕・再取得に対する支援
妖精の里商品券事業	妖精の里商品券の通年利用可能化
かねやまイメージアップ事業	イベント等の積極的参加、町のシンボル作成
道の駅かねやま（仮）整備構想	オープン後の段階的施設の充実・拡大（水力記念館・直売所・農場等）
観光・交流スポット整備事業	川口駅前公共公衆トイレ整備と無人販売の充実、道の駅かねやまと調和した再整備と景観形成、住民意見を取り入れながらの計画立案による沼沢湖周辺の再整備、交流人口の増加と地域内所得の向上のため直売所と公衆トイレを兼ね備えた横田宿（仮）整備、大塩炭酸井戸の再整備検討
特産品・土産品の開発事業	特産品の開発支援、農産物加工所の設置の検討
ヒメマスの回復	ヒメマスの養殖場の整備、担い手育成の検討
チャレンジ漁業の推進	養殖事業の管理運営などを行う担い手の育成
魚族の保護	各漁協の稚魚放流への支援、各ダムへの魚道の建築要望
公共施設再エネ等導入事業	再生可能エネルギーの公共施設への導入検討

再生可能エネルギー発電事業	再生可能エネルギー施設の建設、電力会社への売電の検討
木質バイオマス活用による林業振興	森林組合・町内事業者との連携による木材チップ工場による林業振興の検討
植物工場による農業振興	再生可能エネルギーを利用した温室・ハウス栽培の実施の検討

3、『支えあいプロジェクト』（主要施策3より）

事業名	事業の内容
川のある街再生事業	只見川の景観形成、支障木の伐採、水質環境の改善
防災教育の充実	災害の記録化、地域防災訓練の実施
保健・医療・福祉の充実	精神的な要支援者への支援体制の確立と健康の回復
災害弱者にやさしい町づくり	災害弱者保護のための所在情報のリスト化、援助・避難体制の構築
情報過疎解消事業	ラジオ難聴解消要望、ネットテレビの充実検討、町ＨＰの利活用
地域一体型ふるさと教育の充実	保小中高の連携、それらの地域との連携、川口高校存続対策
地区温泉活性化事業	各組合と連携して地区温泉のあり方の検討
町づくり事業の推進	職員地区担当制度の充実、支えあい支援事業、ふるさと納税の拡充、復興講演会事業
その他復興事業	大塩総合グラウンド整備、災害対策基金の設置、復興支援員事業等を検討中

4、復興の実現に向けて

1、町民や金山町を思う人との連携

- ・思いを共有できる人との連携を密に行い、知恵を出し合い、役割分担を明確に進める。
- ・職員地区担当制度の活用・広報紙・ホームページを有効に活用する。

2、電気事業者・県・国との連携や要請

- ・電気事業者・県・国とも連携を密に行い、知恵を出し合い、役割分担を明確に進める。
- ・各立場における役割を全うするよう要望する。
- ・財政的支援・人的支援を強く要望する。
- ・流域に暮らす住民の立場で判断し復興に当たるよう要望する。

3、実効性の確保

- ・復興計画審議会に諮りながら点検・評価・見直し・公表など適時柔軟に行う。
- ・復興事業に重点的に予算を配分する。
- ・人材の確保と職員の意識改革により効率化を図る。

※ なお、復興計画本文は、町ホームページによりご覧いただけます。また、役場復興政策課で配布していますのでお申し付けください。
(☎54-5203（役場復興政策課）)